

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院におけるロボット支援下肺切除の導入初期の治療成績
	研究目的	呼吸器外科領域においてロボット支援手術は 1990 年代後半より行われるようになりました。ロボット機器の向上とともに他の術式よりもアドバンテージがある術式と考えられております。特に 3次元視が可能であること、また術中の操作性が高いことは外科医にとっては安全な呼吸器外科手術が行えるものと考えられてます。当科では 2021 年 7 月より da Vinci surgical system X を用いたロボット支援下肺手術 (RATS) を開始となりました。今回当院での導入初期の RATS 治療成績を検討します。
	研究対象者	2021 年 7 月～2022 年 4 月に当院でロボット支援下肺手術を受けられた患者さんを対象とします。
	研究期間	西暦 2022 年 5 月 23 日～西暦 2027 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止およ び情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・呼吸器外科・伊坂哲哉・内線 5954 利用停止のお申し出は 2023 年 3 月 31 日までをお願いいたします